

西光寺だより

第九十八号 平成三〇年十月一日発行

◆先月の報告◆

①九月十九日(水)、大谷本廟墓参にようこそそのお参りでございました。

大谷本廟では秋季彼岸会が九月二〇日～二十六日まで勤められました。そのため十五日～二十六日まで交通渋滞の緩和と安全対策のため駐車場が全面閉鎖されました。大変ご不便をおかけ致しましたこと申し訳なく思っています。

今年は、震災に続き台風と自然災害にみまわれ、それぞれのご家庭も大変な被害があり、なかなか心の落ち着きどころがないままの日暮しの中、たくさんの方々が参詣していただきましたこと、有り難く思っています。

毎年のことではございますが、こうしてお参りが出来ることをあたりまえでなく特別なことと味わいながらこれからも精進させていただきたいと思うことであります。



②九月二十七日(木) 西光寺本堂にて仏教婦人会報恩講法要を厳修致しました。多くのご婦人方参詣のもと、皆さんで正信偈のお勤めをさせていただき、住職のお話、そして茶話会と、親鸞聖人のご法事を味わいながら過ごしたことであります。

そしてこの度のご縁、私が彼岸会のお話しを致し、その中で、

『生死の苦海ほとりなし

ひさしくしづめるわれらをば

弥陀弘誓のふねのみぞ

のせてかならずわたしける』

の親鸞聖人の和讃を思い出すことであります。どんな時も阿弥陀さまは、私をそのままに必ず救うとはたらい下さっています。私たちは行き先の見えない人生ではなく、間違いなく阿弥陀さまの願船に乗せて頂いている。この船は沈むことなく、必ず彼岸(浄土)へと渡して下さいます。

親鸞聖人のご法事、報恩講に、彼岸会の思いを感じながらの時間でありました。

合掌



●茨木東組念仏奉仕団参加者募集のお知らせ

今年も茨木東組念仏奉仕団受付の時期になりました。この念仏奉仕団、今年で三十回目を迎えます。浄土真宗本願寺派本山である京都の西本願寺にて清掃奉仕を通して愛山護法の念を深め、宗祖親鸞聖人のみ教えを肌で感じ、学びながら仏恩報謝の生活に生かされる浄土真宗の門徒としての生き方を改めて振りかえる場として実施されています。

今年十二月十日（月）～十一日（火）の一泊二日で行われます。宿泊先は西本願寺隣にある京都東急ホテルでございます。この西光寺だよりを通して知っていただき、共に参加させていただきたいと思い、掲載いたしました。この茨木東組念仏奉仕団とは、茨木東にある十八カ寺のお寺さんの団体であり、その各お寺さんのご門徒の皆様で京都西本願寺の清掃奉仕・参拝を行う茨木東組十八カ寺全員の団体行事でございます。だいたい毎年五十名のご門徒の方と、十名程のお寺さんで行います。

くわしい日程などは申込用紙に記載されていますが、西本願寺内の清掃をしていただき、ご門主様（本願寺住職）との記念撮影、そして龍谷ミュージアム観覧、東急ホテルでの懇親会、朝早くなかなか行く事が出来ない朝六時からの本願寺での朝のお勤め、国宝の書院など、さまざまな西本願寺でしか味わえない時間を皆様と一緒に過ごすことが出来ます。

費用はお一人様一五〇〇円、締切は**十一月五日（月）**でございます。また申込み・詳細は西光寺までご連絡ください。

一年の一度の清掃や参拝を通して、世界遺産や国宝に指定されている西本願寺や宗祖親鸞聖人を身近に感じて頂けたらと思っております。たくさんのご参加、お待ちしております。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆十・十一・十二月の行事◆

・十月 十四 日（日）

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

宮部 誓雅 師

・十一月 二十三日（金・祝）

報恩講法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

和氣 秀剛 師

・十二月 十日（月）～十一 日（火）

茨木東組念仏奉仕団

京都西本願寺